

# 平成26年度「岐阜県みどりの少年団活動発表大会」

を開催しました

1月25日(日)、県立森林文化アカデミー(美濃市)において、平成26年度「岐阜県みどりの少年団活動発表大会」を開催しました。海津市みどりの少年団(海津市)、北方小学校みどりの少年団(揖斐川町)、谷汲小学校みどりの少年団(揖斐川町)、上原小学校みどりの少年団(下呂市)の4つの少年団が参加し、それぞれ地域での学習活動や奉仕活動など日頃の活動成果について発表を行いました。素晴らしい発表の中から、本年度は北方小学校みどりの少年団が最優秀に選ばれました。

なお、北方小学校みどりの少年団は、平成27年10月に池田町で開催される全国緑の少年団活動発表大会へ向け、(公社)国土緑化推進機構へ岐阜県代表として推薦されます。



## 各少年団の発表状況



海津市みどりの少年団  
(海津市)



北方小学校みどりの少年団  
(揖斐川町)



谷汲小学校みどりの少年団  
(揖斐川町)



上原小学校みどりの少年団  
(下呂市)

【恵みの森づくり推進課 伊藤 公博】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8472 恵みの森づくり推進課まで

## 第39回全国育樹祭協賛

# 「清流の国・森の恵み大賞」記念フォーラムを開催しました

～森の恵みを暮らしの中へ～

県は、1月9日(金)に大垣市ソフトピアジャパンセンターで、森林や匠の技を次世代へつなげるとともに、「木を使う文化」を再構築していくために何が必要かを探るため、第39回全国育樹祭協賛「清流の国・森の恵み大賞」記念フォーラムを開催しました。

フォーラムには、県内外から200人を超える多くの方に参加していただき、熱心にメモを取るなど関心の高さがうかがえました。

オークヴィレッジ代表の稲本正氏が基調講演し、「人は森がないと生きることができない」ことから森を守ることが大切であるとともに、森を守るため日常生活の中で「森の恵み」をうまく使い、新しい時代を築いていこうと力強く訴えました。

続いて、アーティストの日比野克彦氏、俳優の竹下景子氏そして東京おもちゃ美術館館長の多田千尋氏が「森の恵みを暮らしの中へ」をテーマにパネルトークを展開しました。森が近い暮らしの素晴らしさや、木のおもちゃの効用などについて意見が交わされました。



稲本 正氏



会場の様子

### 基調講演

講師 いなもと ただし 稲本 正氏<オークヴィレッジ代表>

演題 日本の森の恵みを生活に ～建築からアロマまで～

### パネルトーク

コーディネーター ただちひろ 多田 千尋氏<東京おもちゃ美術館館長>

パネリスト ひびの かつひこ 日比野 克彦氏<アーティスト>

たけした けいこ 竹下 景子氏<俳優>

【恵みの森づくり推進課 伊藤 公博】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8472 恵みの森づくり推進課まで